

武蔵むさしの小埜せのの沼ぬまの鴨かもを見てみ作るつく歌うた一首

一七四四番

埜玉せたまの小埜せのの沼ぬまに 鴨かもそ翼霧はねきる 己おのが尾をに 降ふ
り置おける霜しもを 払はらふとにあらし

那賀郡なかのこほりの曝井さらしめの歌うた一首

一七四五番

三栗みつぐりの 那賀なに向むかへる 曝井さらしめの 絶たえず通かよはむ
そこつまに妻つまもが

手網たづなの浜はまの歌うた一首

一七四六番

遠妻とほづまし 高たかにありせば 知しらずとも 手網たづなの浜はまの
尋たづね来きなまし